

# ガルバシールド®XP

## 犠牲陽極材－鉄筋防錆型（マクロセル）

### 概要

「ガルバシールドXP」は、亜鉛が特殊モルタルに包まれた形状の犠牲陽極材です。

塩害、中性化などによるコンクリート劣化時の断面修復により露出された鉄筋に結束することにより電気化学的に鉄筋防錆を行います。また補修部と未補修部に生じる鉄筋の電位差によるマクロセル腐食を防止する犠牲陽極材です。

### 用途

断面修復が必要とされるコンクリート構造物

### 特長

■特許技術 第 3099830 号

■マクロセル防止

補修部と未補修部に生じる鉄筋の電位差により加速度的に鉄筋腐食が進行するマクロセル腐食を防止します。

■経済性

補修部の再劣化防止によりライフサイクルコストの低減を計れます。

■多彩な用途

塩害、中性化に関わらず、RC、PC、ポストテンション構造物に適用できます。

■施工性

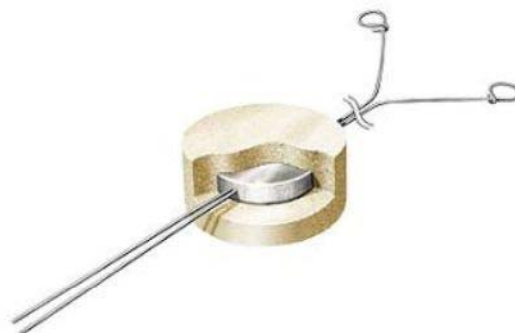
迅速かつ簡単な設置です。

■メンテナンスフリー

外部電源&モニタリングは不要です。

■耐用年数 約 15 年

### 仕様



64mm（直径）×27mm（高さ）

### ■適用範囲

防食レベル	範囲	ガルバシールド XP
鉄筋防錆 (マクロセル)	新しい腐食の発生を防ぐ	○
腐食抑制	進行中の腐食を抑制する	×
電気防食	進行中の腐食を止める	×

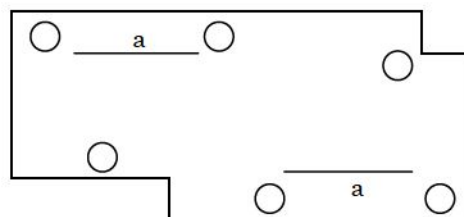
### ■設置間隔表

ガルバシールド XP の設置間隔は、補修対象部の鉄筋表面積とコンクリート表面積の割合により変化します。

1m <sup>2</sup> 当りの鉄筋比率	XP 最大設置間隔
<0.3	750mm
0.31-0.6	610mm
0.61-0.9	500mm
0.91-1.2	430mm

※有効半径は、設置間隔/1.5 です。

### ■設置例

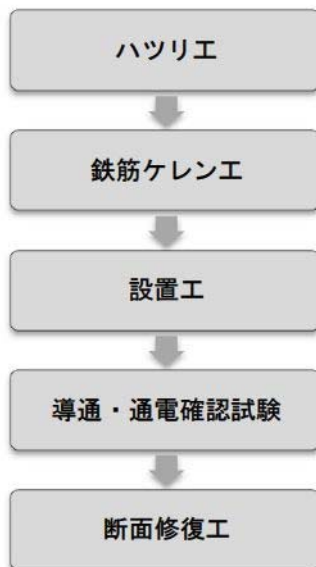


○ : ガルバシールド XP

a : 最大設置間隔

## 施工手順

### ■施工フロー



### ■施工手順

- ① ハツリエ
  - ・ 鉄筋の周辺、及び鉄筋裏側までコンクリートを完全にハツリ取って下さい。
- ② 鉄筋ケレン工
  - ・ 鉄筋表面の錆び等をサンダー、サンドブラスト、ワイヤーブラシ等で除去して下さい。
  - ・ 特に「ガルバシールド XP」を結束する箇所は金属光沢が出るまでケレンを行って下さい。
- ③ 設置工
  - ・ 「ガルバシールド XP」のワイヤーと鉄筋を密着させ動かないように完全に固定して下さい。
  - ・ 「ガルバシールド XP」とコンクリート表面までは必ず 20mm 以上のカブリを取って下さい。
- ④ 導通・通電確認試験
  - ・ マルチメーターにて、「ガルバシールド XP」のワイヤーと鉄筋の電気抵抗が 1.0Ω 以下であることを必ず確認して下さい。
- ⑤ 断面修復工
  - ・ 弊社断面修復材「レンダロックモルタル」にて断面修復を必ず行って下さい。
  - ・ 弊社指定外の断面修復材を使用しますと、設置間隔や有効半径等の期待される効果が十分に発揮できない事があります。

### 安全衛生上の注意事項

- ・ 目や皮膚に付着しないようにゴーグル、ゴム手袋等を着用して下さい。
- ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合には直ちに清浄な水、石鹼等で洗浄して下さい。

### 荷姿及び保管

20 個/箱

未開封、乾燥した場所に保管して 12 ヶ月。

## CREDECENCE

クリディエンス株式会社

ベクター日本指定代理店

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-3 3F

TEL: 03-4590-0200 FAX: 03-3409-3898

URL: <http://www.crde.co.jp> E-mail: [crde@crde.co.jp](mailto:crde@crde.co.jp)



製造元:

Vector Corrosion Technologies

改定日: 2009 年 11 月 1 日

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は

「コンクリート構造物の調査・診断、補修・補強」

**株式会社 ビューテック**

〒079-8453 北海道旭川市永山北3条7丁目3番地の3

TEL 0166-48-7280 FAX 0166-48-7282

URL <http://www.veu.jp/> E-mail [veutech@veu.jp](mailto:veutech@veu.jp)